

沿 革

昭和 48 年

- 昭和 48 年 4 月 5 日 自治省告示第74号をもって消防本部及び署を置かなければならない市町村として政令指定。
- 昭和 48 年 5 月 28 日 農協共済連合会より救急車（3B）の寄贈をうけ、本署に配備。
- 昭和 48 年 6 月 1 日 初代消防長に組合助役山口武由就任。職員定数条例43名。
（吏員36名、職員3名）
- 昭和 48 年 7 月 1 日 職員1名採用。
- 昭和 48 年 7 月 16 日 職員29名採用。
- 昭和 48 年 9 月 1 日 本部次長兼初代署長に松江地区消防組合より派遣職員山根尚典氏就任。
- 昭和 48 年 10 月 1 日 隠岐島町村組合消防本部及び島後消防署として発足。西郷町大字中町大城ノ二 3-1 隠岐文化センター内に本部及び本署が設置され、署長以下10名で救急車、消防ポンプ自動車、小型動力ポンプ各1台をもって業務開始。
五箇村大字北方、五箇村役場内に五箇出張所を設置し、職員4名で業務開始。
都万村大字都万、都万村役場内に都万出張所を設置し、職員2名日勤として業務開始。
西ノ島町大字浦郷、西ノ島町観光協会内に島前分署を設置し消防ポンプ自動車、小型ポンプ各1台を設置し、職員6名で業務開始。
海士町大字海士、海士町中央公民館内に海士出張所を設置し職員4名で業務開始。
知夫村、知夫消防団第1分団車庫2階に知夫出張所を設置し職員4名で業務開始。
- 昭和 48 年 10 月 29 日 バイク（50cc）5台を購入し分署及び出張所に配置。
- 昭和 48 年 11 月 10 日 西郷町大字八田字榎原24番の1に新庁舎完成し消防本部、本署移転。
- 昭和 48 年 11 月 30 日 指揮車（1,000cc）1台購入し本部に配置。

昭和 49 年

- 昭和 49 年 2 月 13 日 水槽付化学消防ポンプ自動車1台を購入し本署に配置。
- 昭和 49 年 2 月 27 日 消防ポンプ自動車、小型動力ポンプ各1台を購入し五箇出張所に配置。

- 昭和 49 年 3 月 25 日 隠岐郡都万村大字那久字大曲り1,678番地、横尾山山頂に無線中継局、本部及び分署に固定局を設置、又車両に移動局を装備し、更に携帯無線機を分署及び出張所に各1台、本署に5台西郷町消防団、布施村消防団、五箇村消防団の各団本部に2台設置し通信体制の確立を図る。
- 昭和 49 年 3 月 30 日 五箇村大字山田7番地に五箇出張所庁舎完成移転。
西ノ島町大字浦郷60番地7に島前分署庁舎完成移転。
海士町大字海士1,483番地に海士出張所庁舎完成移転。
- 昭和 49 年 3 月 31 日 知夫村1,561番地9に知夫出張所庁舎完成移転。
(社)日本損害保険協会より救急車自動車(2B)1台の寄贈をうけ島前分署へ配置。
西郷土木事務所と組合管理者において、隠岐空港及びその周辺における消防救難活動に関する協定を締結し、昭和49年4月1日より実施。
- 昭和 49 年 4 月 1 日 職員7名を採用。(総36名)
- 昭和 49 年 5 月 13 日 (社)日本損害保険協会より救急自動車(2B)1台の寄贈をうけ海士出張所へ配置。
- 昭和 49 年 5 月 20 日 隠岐島の港湾における船舶火災について、西郷海上保安署と業務協定を締結し、昭和49年6月1日より実施。
- 昭和 49 年 6 月 29 日 自治省告示第131号をもって、救急業務を行わなければならない市町村として政令指定。
- 昭和 49 年 9 月 17 日 島後消防署を隠岐島消防署に名称変更する。
- 昭和 50 年**
- 昭和 50 年 3 月 1 日 (社)日本損害保険協会より救急自動車(2B)1台の寄贈をうけ五箇出張所へ配置。
- 昭和 50 年 8 月 1 日 公用車(2,000cc)を購入し本部に配置。
- 昭和 50 年 10 月 4 日 積載車(軽四輪トラック360cc)小型ポンプ各1台購入し、都万出張所に配置。
- 昭和 51 年**
- 昭和 51 年 3 月 26 日 救急自動車(2B)1台を購入し、知夫出張所に配置。
- 昭和 51 年 4 月 19 日 (社)日本損害保険協会より救急自動車(2B)1台の寄贈をうけ都万出張所へ配置。
- 昭和 51 年 6 月 1 日 職員1名採用。

昭和 51 年 9 月 25 日	松江地区消防組合、出雲市外4町広域消防組合、鳥取県西部広域行政管理組合及び隠岐島町村組合の4者間において、隠岐島の救急業務共同処理に関する覚書を交換し、昭和51年10月1日より実施。
昭和 52 年	
昭和 52 年 4 月 1 日	島根県下全市町村及び消防に係る一部事務組合の相互応援に関する協定を締結し実施。
昭和 53 年	
昭和 53 年 10 月 1 日	本署通信室改造119番一斉指令装置設置。
昭和 54 年	
昭和 54 年 4 月 1 日	職員1名採用。(総38名)
昭和 54 年 6 月 1 日	本署に訓練塔及び車庫を建設。
昭和 54 年 10 月 29 日	水槽車(5t)を購入し本署へ配置。
昭和 55 年	
昭和 55 年 4 月 1 日	消防職員定数条例の改正により定数43名を48名に(吏員45名職員3名)。職員4名採用。(総41名)
昭和 54 年 9 月 8 日	(株)隠岐ガスより指揮車(1,166cc)1台の寄贈を受け本署へ配置。
昭和 56 年	
昭和 56 年 5 月 1 日	海士出張所職員待機宿舎完成、使用開始。(2戸分)
昭和 56 年 12 月 1 日	本署通信室より遠隔操作による非常通報(西郷町)を開始する。
昭和 57 年	
昭和 57 年 4 月 1 日	職員3名採用。(総44名) 分署職員待機宿舎完成、使用開始。(4戸分)
昭和 57 年 10 月 19 日	日本防火協会より婦人防火クラブに広報車1台寄贈を受ける。
昭和 57 年 10 月 30 日	横尾山中継局、本部固定局に予備無線機を増設。
昭和 57 年 12 月 15 日	消防本部及び消防署の所在地名の変更、西郷町西町大字八田榎原20番地。職員定数条例改正、消防吏員47名、消防吏員以外1名 計48名
昭和 58 年	
昭和 58 年 3 月 25 日	本署職員待機宿舎完成、使用開始。(6戸分)
昭和 58 年 3 月 31 日	軽広報車2台、公用車1台、都万出張所積載車1台更新。
昭和 58 年 4 月 1 日	職員3名採用。(総47名)

昭和 58 年 8 月 25 日	はしご自動車(18m)購入し本署へ配置。
昭和 58 年 9 月 20 日	職員定数条例改正により吏員50名職員1名、計51名。
昭和 58 年 10 月 20 日	消防本部、署発足10周年記念行事実施。
昭和 58 年 11 月 29 日	農協共済連合会より救急車(2B)1台の寄贈を受け、本署の救急車更新。
昭和 59 年	
昭和 59 年 3 月 9 日	消防庁長官表彰受章。
昭和 59 年 3 月 31 日	本署仮眠室、分署通信室増築及び分署通信室に一斉指令装置設置。
昭和 59 年 4 月 1 日	職員4名採用。(吏員3名、事務職員1名)(総51名)
昭和 59 年 12 月 20 日	消防本部に課の設置を行う。(総務課、消防課)
昭和 60 年	
昭和 60 年 3 月 6 日	職員定数条例改正により吏員55名、職員1名、計56名。
昭和 60 年 3 月 30 日	本署、分署の車庫増築及び本署に非常発電設備設置。 分署、無線中継基地の移転を行う。
昭和 60 年 4 月 1 日	職員1名採用。(総52名) 給与表を行政職より公安職(-)に切替。
昭和 60 年 5 月 1 日	平田市、大社町及び消防にかかる一部事務組合の救急業務に関する相互協定を締結し実施。
昭和 60 年 9 月 5 日	(社)日本損害保険協会より消防ポンプ自動車の寄贈を受け、本署のポンプ車更新。
昭和 61 年	
昭和 61 年 9 月 30 日	消防本部会議室及び消防長室を増築。
昭和 61 年 10 月 1 日	消防化学車(I型)を購入し、島前分署に配置。
昭和 62 年	
昭和 62 年 4 月 1 日	職員1名採用。(総53名)
昭和 62 年 10 月 5 日	消防ポンプ自動車(BDI型)を購入し、五箇出張所のポンプ車更新。
昭和 63 年	
昭和 63 年 3 月 14 日	救急車(2B型)を購入し、島前分署の救急車更新。

昭和 63 年 10 月 28 日

消防ポンプ自動車(CDI型)を購入し、島前分署のポンプ車更新。

平成元年

平成元年 3 月 10 日

日本自動車工業会から救急車(2B型)1台の寄贈を受け、海士出張所の救急車更新。

平成元年 6 月 15 日

県防災行政ファクシミリ装置を消防本部に配置。

平成元年 8 月 8 日

日本消防協会より救急車1台の寄贈を受け、五箇出張所の救急車更新。

平成元年 11 月 27 日

消防ポンプ自動車(CDI型)を購入し、海士出張所のポンプ車更新。

平成 2 年

平成 2 年 4 月 1 日

職員3名採用。(総56名)

平成 2 年 10 月 11 日

救急車(2B型)を購入し、都万出張所の救急車更新。

平成 2 年 11 月 1 日

職員1名採用。(総56名)

平成 3 年

平成 3 年 4 月 1 日

職員1名採用。(総57名)
都万出張所、都万役場新築移転の為都万村大字都万2345番地2に移転。

平成 3 年 9 月 12 日

救急車(2B型)を購入し、知夫出張所の救急車更新。

平成 3 年 9 月 30 日

トヨタカローラ(1,290cc)を購入し、本署の指揮車更新。

平成 3 年 10 月 21 日

消防ポンプ自動車(CD型)を購入し、知夫出張所のポンプ車更新。

平成 3 年 10 月 30 日

職員待機宿舎、塩口公舎完成使用開始。(1戸分)

平成 3 年 12 月 19 日

職員定数条例改正により消防吏員61名職員1名、計62名。

平成 4 年

平成 4 年 4 月 1 日

職員1名採用。(総58名)

平成 4 年 7 月 15 日

(社)日本損害保険協会より化学ポンプ自動車(Ⅱ型)の寄贈をうけ、本署の化学車更新。

平成 4 年 9 月 1 日

分署庁舎の改修工事实施。

平成 4 年 9 月 12 日

本署査察車(軽四ハコバン)を購入し、更新。

平成 5 年

平成 5 年 3 月 26 日

消防用無線設備の老朽化に伴い改修工事を実施、不感区域の解消を図る。

平成 5 年 3 月	本署仮眠室及び書庫の増築工事。
平成 5 年 4 月 1 日	職員定数条例改正により消防吏員62名職員1名、計63名。 職員3名採用。(総59名)
平成 5 年 6 月 20 日	地図検索装置を導入。
平成 5 年 7 月	日本防火協会より婦人防火クラブに広報車1台の寄贈を受ける。 統廃合に合わせ、本署事務所等の増改築。
平成 5 年 8 月 20 日	組織改革により五箇出張所、都万出張所を本署に統合。 本部組織を3課6係制とする。
平成 5 年 10 月 1 日	本部、署発足20周年記念式典及び「あゆみ」の発刊。
平成 6 年	
平成 6 年 3 月 28 日	島根県防災ヘリコプター応援協定を締結し、平成6年4月1日から実施。
平成 6 年 4 月 1 日	職員4名採用。(総63名)
平成 6 年 5 月 24 日	(株)隠岐ガスより指揮車(1,490cc)1台の寄贈を受け、本署の指揮車更新。
平成 7 年	
平成 7 年 10 月 24 日	徳畑輝人氏より救急車(トヨタ・四WD)1台の寄贈を受け、 本署の救急車更新。
平成 8 年	
平成 8 年 4 月 1 日	職員定数条例改正により消防吏員63名職員1名、計64名 職員4名採用。(64名)
平成 8 年 9 月 1 日	西郷町の字区域変更事業に伴い、消防本部、消防署の地番が 隠岐郡西郷町大字城北町163番地に変更。
平成 8 年 12 月 19 日	小型動力ポンプ付水槽車(5t)を購入し、本署の水槽車更新。
平成 9 年	
平成 9 年 6 月 11 日	職員定数条例改正により消防吏員64名、職員1名 計65名。
平成 10 年	
平成 10 年 3 月 25 日	唯山に無線中継所を設置し島前地区の不感区域の解消を図る。
平成 10 年 3 月 30 日	消防緊急通信指令装置(I型)を本署に設置し、島前各署所の119番を 本署に集約する。 緊急通報システムを本署に設置し運用を開始。
平成 10 年 4 月 1 日	職員2名採用。

平成10年10月28日	海士職員待機宿舎補修工事完了。
平成10年12月16日	本署浄化槽改修工事完了。
平成11年	
平成11年3月30日	本署高圧受電設備設置工事完了。 本署庁舎修繕工事完了。
平成11年4月1日	職員1名採用。(65名)
平成11年7月22日	本部公用車(1,600cc)及び査察車(軽ハコバン)を購入し更新。
平成11年11月1日	消防ポンプ自動車(CD-1型)を購入し、本署のポンプ車更新。
平成12年	
平成12年4月1日	組織改革により本部組織3課7係とする。
平成12年12月20日	知夫村オフトーク端末工事完了。
平成12年12月27日	西ノ島町防災行政無線遠隔操作に係る端末工事完了。
平成13年	
平成13年1月1日	本署通信員により、知夫村オフトーク及び西ノ島町防災行政無線遠隔操作による非常通報を開始する。
平成13年3月16日	救急自動車(2B型)を購入し、分署救急車更新。
平成13年3月26日	海士町防災行政無線遠隔操作に係る端末工事完了、運用を開始する。
平成13年4月1日	職員1名採用。(65名)
平成13年10月11日	隠岐島危険物保安協会より指揮車寄贈を受け消防本部に配備。
平成14年	
平成14年3月18日	(社)日本損害協会から高規格救急車(ニッサンパラメディック4WD)一台寄贈受け本署に配備。
平成14年3月31日	隠岐島町村組合解散。
平成14年4月1日	隠岐広域連合に統合。隠岐広域連合消防本部に名称変更。職員3名採用。
平成14年4月15日	高規格救急車での救急業務運用開始。
平成14年10月15日	救急自動車(2B型)を購入し、海士出張所更新。

平成14年11月20日	消防ポンプ自動車(CD-1型)を購入し、本署消防ポンプ車更新。
平成15年	
平成15年4月1日	消防職員3名採用。(65名)
平成15年11月	発足30周年記念誌発行。
平成16年	
平成16年6月29日	はしご車オーバーホール
平成16年10月1日	町村合併に伴い構成町村4町1村となる。 住所が隠岐の島町城北町163番地に変更。
平成16年10月28日	消防ポンプ自動車(CD-1型)を購入し、分署消防ポンプ車更新。
平成17年	
平成17年4月1日	職員定数条例改正により吏員65名、職員1名、計66名 (他の地方公共団体への派遣職員1名は除く。) 職員2名採用。
平成18年	
平成18年4月1日	職員3名採用。(66名)
平成18年12月20日	消防ポンプ自動車(CD-II型)を購入し、緊急援助隊登録車両更新。 海士出張所消防ポンプ車(CD-1型)消防ポンプ車更新。
平成19年	
平成19年3月15日	海士出張所庁舎増築(26.73㎡)
平成19年4月1日	職員2名採用。(66名)
平成20年	
平成20年4月1日	職員定数条例改正により消防職員66名。 職員4名採用。(66名)
平成20年5月12日	隠岐地区総合防災訓練実施。
平成20年8月31日	知夫出張所庁舎建替工事着工。
平成21年	
平成21年2月6日	職員定数条例改正により消防職員67名。
平成21年3月24日	知夫出張所救急車更新(ニッサン2B)。
平成21年4月1日	職員3名採用。(66名)

平成 21 年 5 月 27 日	知夫出張所新庁舎にて業務開始。
平成 21 年 7 月 1 日	職員1名採用。(67名)
平成 21 年 9 月 9 日	アステラス製薬㈱から高規格救急車(トヨタパラメディック4WD)1台の寄贈を受け島前分署に配備。
平成 21 年 9 月 24 日	査察車(軽自動車)1台を購入し島前分署に配備。
平成 21 年 10 月 15 日	消防ポンプ自動車(CD-1型)を購入し知夫出張所消防ポンプ自動車更新。
平成 22 年	
平成 22 年 4 月 1 日	職員定数条例改正により消防吏員67名。 消防吏員の定数の特例、平成24年3月31日まで消防吏員70名。 職員6名採用。 消防吏員68名、消防吏員以外の職員1名。計69名。
平成 23 年	
平成 23 年 3 月 12 日	東日本大震災発生に伴う消防援助隊派遣(消火部隊5名)
平成 23 年 4 月 1 日	職員4名採用。(69名)
平成 24 年	
平成 24 年 3 月 16 日	はしご車を購入し、本署に配備。 JA隠岐から油圧救助資器材の寄贈を受け本署はしご車に配備。
平成 24 年 3 月 29 日	資器材搬送車を購入し、本署に配備。
平成 24 年 4 月 1 日	消防吏員の定数の特例解除により消防吏員67名 職員2名採用。 消防吏員66名、消防吏員以外の職員1名。計67名
平成 24 年 11 月 26 日	JA隠岐から救急資器材(AED、エネルギーチェッカー)の寄贈を受け本署、海士出張所に配備。
平成 24 年 12 月 20 日	水槽車を購入し、本署に配備。
平成 25 年	
平成 25 年 4 月 1 日	職員3名採用。 消防吏員67名、消防吏員以外の職員1名。計68名 査察車をリース契約し、本署に配備。
平成 25 年 12 月 24 日	化学車を購入し、本署に配備 本署にあった化学車を島前分署へ配備。

平成 26 年

平成 26 年 4 月 1 日

隠岐広域連合消防職員定数条例の廃止。

隠岐広域連合定数条例の改正により消防職員69名。（派遣職員除く）
職員2名採用。

島根県消防学校に職員1名派遣。

消防本部3課から4課体制へ。